

2011年

作に選ばれた。いずれも本県や県民の歴史を物語る作品で、地域に密着した調査研究と長年にわたるきめ細かな取材に基づき、確かな知見などが凝縮された力作だ。

同賞は、地域出版文化の向上と出版人の育成を目的として、県内在住の著者、編者による昨年一年間の出版物を対象に選考。14日に宮崎市の宮日会館で開いた選考委員会

で、候補作16点を審査した。

子どもと本をつなぐネットワー（ク代表）、矢野好孝（県立図書館館長）の4氏と、大重好弘・宮崎日日新聞社取締役編集局長。

内容や装丁、独自性、地域文化への貢献度などを選考基準にして受賞作を絞った。受賞作の概要、選考理由は次の通り。

【赤江 あの日あの頃】旧赤江町が宮崎市と合併した1943（昭和18）年前後の地

愛知県新城市の養鶏農場で鳥インフルエンザに感染した疑いのある鶏が見つかり、愛知県は14日、高病原性鳥イン

フルエンザウイルスの遺伝子検査の結果、陽性と判定したと明らかにした。タイプはH5型。同県での感染確認は1月の豊橋市に続き、今年2例

目。県はこの農場で飼育されて

16羽が飼育している約90万羽の移動を制限する。名古屋コーチンは食用、採卵用として毎年、県内から約

### ハヤブサの感染を確認

長崎

長崎県は14日、諫早市有喜町で衰弱した状態で見つかり、鳥インフルエンザの簡易検査で陽性となったハヤブサ

1羽についてインフルエンザだと発表し、細検査している。発見場所かの養鶏農家16

# 全国から「がんばるっし」

宮崎日日新聞

新燃岳噴火と高病原性鳥インフルエンザに見舞われている本県を元気づけようと、本県出身者や企業など全国から支援の手が差し伸べられていく。

東海地方の小林市出身者でつくる「中部小林会」（溝口兼生会長、約300人）は12、13日、名古屋駅前で募金活動を行った。集まった46万294円は都城、小林市と高原町に寄付する。活動を提案したのは同会役員

の浅井タツ子さん（68）＝岐阜県瑞穂市。噴火におびえる住民の様子や、降灰による農作物被害を親戚から聞き、「郡城市、高原町と小林市は圏域は一緒。居ても立ってもいられなくなった」といっ。

募金した人の中には、職場や隣近所で募ったお金を持参した地元出身者も。浅井さんは「故郷を思う気持ちが伝わったのでは。お金は西諸県圏域全体のために使っていただければ」と話していた。

家庭教師派遣などを手掛ける日本学術講師会（福岡市中央区、中村伸二社長）は、同社のインターネット自宅学習システム「e点」を被災した学生に無料で配信している。

## 東海の本県出身者募金 「自宅学習」無料で配信



名古屋駅前で募金活動する「中部小林会」のメンバー

師らの授業動画約5600本（一本当たり3〜5分）をインターネットで配信。問題をダウンロードする仕組み。科目は、小学生コースが国語と算数、中学生コースが全教科。「子どもたちが元気になるお手伝いをしたい」と中村社長。

対象は、郡城市、高原町や鳥インフルエンザの発生農家、発症に伴い経済的な被害を受けた家庭の小中高生など。無料期間は9月末まで。希望者は同サーブিসホームページ（HP）で会

また、全日本空輸（伊東信一郎代表取締役社長＝西都市出身）は14日、県に新燃岳噴火、鳥インフルエンザ対策としてそれぞれ50万円を寄付した。飯田

新燃岳の噴火区域内から閉鎖された狭野小（原）人は14日、約校で授業を再開。んだ教室に戻れし「笑論噴石の恐れ保護者が児童校門をくぐりや教師と元気を交わして登校式学級2目では、担任の装着方法の話題も上り

### 自校

